vol.17

多文化共生レインボープラス

「サラダボールCo.」「Cerejaカフェ」「愛知華人華僑國際交流會」
「あいうえ Oguchi」「もやい」「まちねっと大口」

多文化共生レインボーとは？

大口町で多文化共生や国際交流に関わる事業をおこなっている団体が集まって結成しています

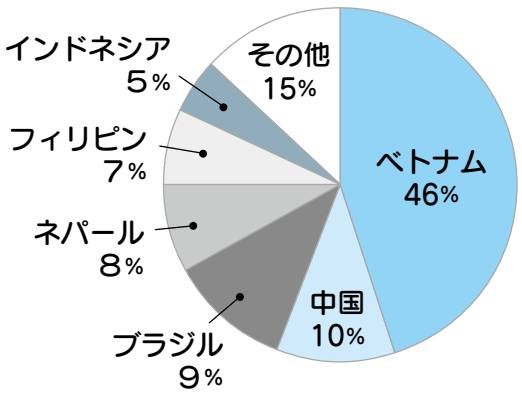
私たちが住むこのまちには、さまざまな人たちが暮らしています。それぞれの国籍・文化・習慣や価値観もさまざまです。それらを認め、尊重し合い、同じ地域の住民として、共に安心して暮らしていく社会。それが「多文化共生社会」です。

令和7年4月現在、大口町には953人、町民の4.0%（およそ26人に1人）の外国籍住民が暮らしています。5年間の人口推移をみると増加傾向にあり、近年は毎年約100人増えています。

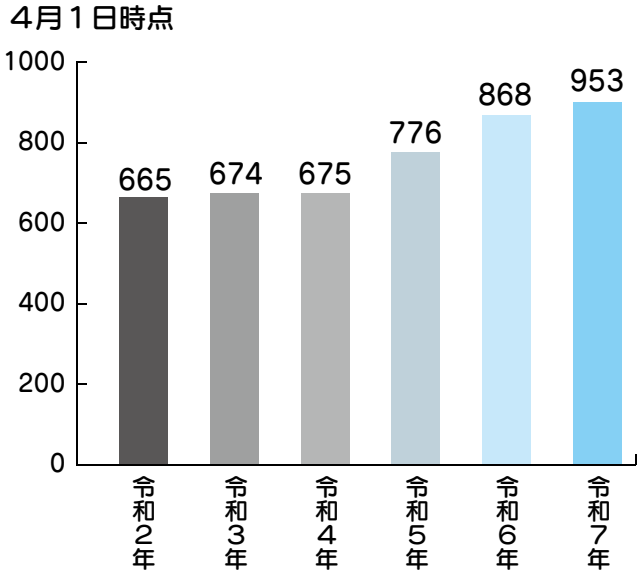
入管法の改正により、特定技能の資格を持つ方だけでなく、在留者の家族も今後は増加していくと予想されます。

日本人・外国人と分けるのではなく、お互いを尊重し、支え合いながら、暮らしていくことが大切です。

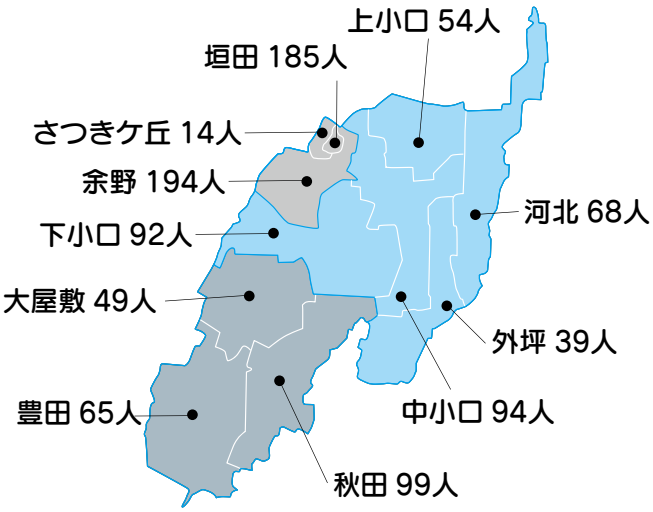
国籍別グラフ



外国籍住民の人口推移



行政区別人口



みなさんは無意識のうちに「○○だろう」と決めつけていませんか。

例えば、「外国人は英語が話せる」「外国人は目の色が違う」など。

1つ目の例では、実は外国籍の方は英語より、「やさしい日本語」の方が分かるというアンケート結果があります。

外国籍住民に対してだけでなく、日常生活にも無意識の思い込みはあります。先入観を持ちすぎないようにしましょう。

やさしい日本語って？

やさしい日本語とは、文法・言葉のレベルや文章の長さに配慮し、わかりやすくした日本語のことです。

（例）

土足厳禁→
靴を脱いでください

高台に避難してください→
高いところに逃げて

例のように少しかみ砕いた表現で伝えることで、外国籍住民の方以外にも、子どもからお年寄りまで簡単に分かりやすく伝えることができるようになります。身近にいる外国籍の方と話す際はやさしい日本語を意識してみてください。

まちの仲間にインタビュー

馬淵一善さん（ブラジル出身）

いつ、どうして日本にきましたか。

34年前に、留学のために日本へきました。

大口町の印象は。

とても住みやすいです。大口町に20年住んでいて、さつきケ丘区の行事には仕事が無ければ率先して参加し、地域の方々とのふれあいをいつも楽しみにしています。

おすすめのブラジル料理を教えてください。

出汁の豆料理フェイジョンは、白ご飯や油ごはんにかけて食べるブラジルの毎日の食卓に欠かせない家庭料理です。作り方は豆（キドニービーンズやうずら豆、白いんげん豆など）を圧力鍋で柔らかくなるまで火にかけます。別の鍋でニンニクを炒め、その豆と水、味付けに塩を加え煮込んでできあがりです。

特別な日には、フェイジョアーダという、大鍋で黒豆とソーセージや豚のさまざまな部位と塩も加え柔らかくなったらでき上がりです。出汁がでて、とても美味しいです。

サプコタ ジャスミンさん（ネパール出身）

いつ日本にきましたか。

2年半前、小学1年生で日本へきました。

大口町にきてどう思いましたか。

ネパールでは、道にゴミが落ちていましたが、ここは町がとてもきれいだなと思いました。

好きな日本の料理とネパールの料理を教えてください。

日本のカレーライスが好きです。ネパールで好きなものはたくさんあります。チャトパテ（インスタントラーメンを砕いたものとポン菓子、トマトなどをレモンとスパイスで味付けしたおやつ）、モモ、パニプリ（小麦粉の生地を揚げたものに、香草液と具材を入れたおやつ）、チャウミン（ネパール風焼きそば）などです。

日本とネパールの好きなところを教えてください。

日本の学校は給食が美味しいです。先生も怒るけど、優しいです。公園が多いのも嬉しい。雪が降るのも好き。ネパールの学校では、お金を持ってきてお菓子とかも買えます。スクールバスで学校にきて、早くきた人から席を選べます。学校も11時くらいから始まるのであまり勉強しなくていいです。

将来の夢、やりたいことを教えてください。

1番は保育園の先生です。2番は歯医者さんです。最後に今やりたいことは、遠くてなかなか会えないおじいちゃんおばあちゃんに会いたいです！

ボランティア大募集中！

町内2つの日本語教室では、ボランティアを募集しています。多文化共生や仲間づくりに関心のある方、ぜひ活動に参加しませんか。教える側がついつい教えてもらう側になっていたり、多くの学びがあります。資格、経験は問いません。お気軽にお問合せください。

こどもの日本語・学習サポート教室 あいうえOguchi

開催日 毎週木曜日　午後3時から5時30分

場所 白山ふれあいの森2階　会議室

問合せ先 ☎090-5809-5199

木曜　午後2時30分から5時30分

日本語教室Cerejaカフェ

開催日 毎週土曜日
午後6時から7時30分

場所 ほほえみプラザ2階
町民活動センター

問合せ先 まちねっと大口
☎22-6642

多文化共生レインボー参加団体の取り組み

こどもの日本語・学習サポート教室 あいうえOguchi

毎週木曜日、白山神社ふれあいの森で活動中。学年も違えばルーツも違う子どもたち。学校の宿題やドリルをすることで日本語を学習し、遊びを通じて友だちとの関係づくりを学びます。

昨年は、日曜日に親子で参加できる教室や進路ガイダンス、名古屋大学の減災教室にも参加。家族も遊べる居場所づくりを目指して活動しています。

サラダボールCo.

大口子どもカレッジを開催し、クッキング講座や理系講座を通して生活を科学し、参加者同士の相互理解を深めることで、子どもたちの未来に生きる力を育む活動をおこなっています。

今年は、1日コースの体験講座の開催を予定しています。その他、令和6年度にエコキャップ運動で世界の子どもたちに累計で658名分のワクチンを寄付しました。

もやい

大口町海外派遣事業経験者のうち、有志のメンバーが参加しています。大口町海外派遣事業参加者のサポートに加え、国際交流や被災地復興支援に関する活動をおこなってきました。

町内事業に参加することでまちづくりへの興味関心を高め、未来の大口町の若い力の育成を目指しています。

まちねっと大口

大口町民活動センターを中心とし、NPO団体のサポートや多文化共生に関する事業をCerejaカフェを拠点としておこなっています。

多文化共生レインボーの皆さん、大口町とともに、多文化共生社会実現のための事業や講座を開催していきます。皆さん、どうぞご参加ください。地域団体や企業との連携企画も大歓迎です！

愛知華人華僑國際交流會（あいちかじんかきょうこくさいこうりゅうかい）

平成27年に発足し、日中友好の懸け橋の役割を果たすべく、文化交流を中心とした活動をおこなっています。

中国の伝統文化である書画や中国料理の得意なメンバーが在籍しており、ふれあいまつりにも出展しています。今後も、大口町を中心に活動していきます。

日本語教室 Cereja（セレジャ）カフェ

平成26年4月に活動を始め、今年度で丸10年になりました。

当初、実習生が多かった学習者は、コロナ禍を経て、定住者や家族滞在等の子どもたちが多くなりました。勉強ばかりではなく、生活や進学など生活に密着した相談にも可能な範囲で応じています。

ボランティアと学習者が和気あいあいと楽しく話ができる教室です。

満開の桜の下で　金助桜まつり

4月6日（日）堀尾跡公園で、金助桜まつりが開催されました。あいにくの雨で、午前中に予定されていた春の伝統芸能発表会は中止になりましたが、太極拳協会による演武やおおぐち歴史愛好会の甲冑展示がおこなわれました。

正午からは裁断橋で、「松江城鉄炮隊」「松江城姉さま鉄炮隊」による演武と日本刀による居合切りが披露され、古式火縄銃を用いた勇壮な実演は圧巻で観客を魅了しました。